

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎柔道整復学5							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	1年	後期	鴨田 佳典		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	基礎柔道整復学			座学	2	21	
科目概要							
柔道整復の基礎知識を身に付ける。 「外傷予防」等の観点から、運動器の作用やはたらきを学習し、理解することができる。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として外傷への適切な対応ができるように関節における構造と機能および鑑別診断、また骨折・脱臼・軟部組織損傷の基礎知識を習得し臨床に生かせるようにする。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 正しい治療法を選択できるようにする。 2. 鎖骨部の損傷を理解し選択できるようにする。 3. 肩関節部の損傷を理解し選択できるようにする。 4. 上腕部の損傷を理解し選択できるようにする。 5. 肘関節部の損傷を理解し選択できるようにする。 6. 前腕部の損傷を理解し選択できるようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
すべての教科の基礎である解剖学、とくに骨格系や筋系の部分の予習復習を大事にしてください。							
教科書・参考書							
柔道整復学・理論編 第6版							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。 授業で必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	治療法・外傷予防 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.88～136 p.137～145	教科書・筆記用具		
第2回	鎖骨部の損傷① 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.174～178 p.300～310	教科書・筆記用具		
第3回	鎖骨部の損傷② 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.174～178 p.300～310	教科書・筆記用具		
第4回	鎖骨部の損傷③ 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.174～178 p.300～310	教科書・筆記用具		
第5回	肩関節部の損傷① 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.303～310 p.350～360	教科書・筆記用具		
第6回	肩関節部の損傷② 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.303～310 p.350～360	教科書・筆記用具		
第7回	肩関節部の損傷③ 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.303～310 p.350～360	教科書・筆記用具		
第8回	上腕部の損傷① 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.181～203 p.360～361	教科書・筆記用具		
第9回	上腕部の損傷② 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.181～203 p.360～361	教科書・筆記用具		
第10回	上腕部の損傷③ 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.181～203 p.360～361	教科書・筆記用具		
第11回	中間振り返り				教科書・筆記用具		
第12回	肘関節部の損傷① 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.310～315 p.361～365	教科書・筆記用具		
第13回	肘関節部の損傷② 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.310～315 p.361～365	教科書・筆記用具		
第14回	肘関節部の損傷③ 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.310～315 p.361～365	教科書・筆記用具		
第15回	前腕部の損傷① 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.203～224 p.365～369	教科書・筆記用具		
第16回	前腕部の損傷② 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.203～224 p.365～369	教科書・筆記用具		
第17回	前腕部の損傷③ 4択問題の選択・アクティブラーニング			p.203～224 p.365～369	教科書・筆記用具		
第18回	総まとめ①				教科書・筆記用具		
第19回	総まとめ②				教科書・筆記用具		
第20回	定期試験				教科書・筆記用具		
第21回	試験解説				教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院に勤務。医療機関での実務経験をもとに講義します。							
メールアドレス							
kamoda@nihonisen.ac.jp							